

みなさんにエールを送る福祉のしごと情報紙

YELL

vol.01

AUGUST

2022.08.01

エールは、介護施設・事業所にとってタイムリーで役立つ情報をお届けするとともに、介護の職場で働いている人・働きたい人を応援する情報紙です。

「人にあえる（会える）」
人と人をつなげること
（マッチング）が大好きな
“あえる”ちゃんも
応援しています！



特集

職員と利用者の距離を縮め、利便性もアップ SNSを積極的に活用する『ゆうゆうタウン水沢』

- P.2 【特集】SNSを積極的に活用している施設 ～お返事をもらえるのがうれしい～
- P.4 福祉人材センターホームページリニューアル
求人情報と自施設情報を一緒に掲載できる機能が追加!!
- P.6 福祉の職場で働く人にYELL
- P.8 エールインフォメーション

「ゆうゆうタウン水沢」利用者の山折睦子さんと
シニアマネージャー兼管理部統括マネージャーの高橋康太さん

職員と利用者の距離を縮め、利便性もアップ

SNSを積極的に活用する『ゆうゆうタウン水沢』

ゆうゆうタウン水沢は、株式会社おやまケアサービス

（小山裕貴代表取締役）が運営するリハビリテーションデイサービスです。お客様がいつまでも元気で自立した生活が送れるように、大切にしているのは「身体」「心」「心」がバランスよく健康になること。リハビリや機能訓練で身体を動かし、レクリエーションや会話で脳の活性化を図り、入浴やマッサージで心を癒しています。

同施設で力を入れているのが、SNSを利用した情報発信と共有です。会社の公式情報はFacebookで発信。お客様とご家族、職員が情報を共有し、つながりを深めるための手段として、LINEを利用しています。

「職員さんの人間的な部分が知れて、親近感がわいた」「LINEの使い方を知ったおかげで、家族とも気軽にやり取りできるようになって良かった」などの声が寄せられています。



▲シニアマネージャー兼管理部統括マネージャーの高橋康太さん

SNSの基礎知識

「SNS」とは、「ソーシャル ネットワーキング サービス(Social Networking Service)」の略称で、「会員制交流サイト」とも表現します。スマートフォンやパソコンを使ってインターネット上のサイトに登録し、文章や写真を投稿したり、友人や知人の投稿を閲覧して返信するなどの交流ができます。

SNSの中から人気の4種をご紹介します。

- LINE 一対一から複数人まで、無料でメッセージのやり取り、音声通話、ビデオ通話ができます。
- Facebook 利用方法はLINEとほぼ同じですが、実名登録が必要であり、ビジネスやイベント告知などにも多く利用されています。
- Instagram 文章よりも写真や動画の投稿・閲覧が中心のSNSです。20代や30代の女性に人気があります。
- YouTube 動画を投稿・閲覧することができます。

適性を考えながら、

2つのSNSを活用

高橋さんが介護施設でのSNSの活用を始めたのは、2019年のことでした。ホームページはあったものの、それだけでは情報発信が足りないと感じていました。

「ホームページは会社概要を知っていただくには良いのですが、頻繁に更新するものでもありません。もっと積極的に情報を発信していきたいという思いは、代表の小山も抱いていました。そこで、最初に始めたのがFacebookです。ホームページと紐づけし、トップページを開けばFacebookに投稿した内容が閲覧できるように設定しました。

以前よりも投稿の頻度は増えましたが、あくまで会社公式としてであり、「納涼会を開きました」や「新年のご挨拶」といった情報を発信してました。それらもちろんだ大事な情報ではありますが、施設を利用するお客様とものつながりやを深めるための手段もほしい。その役割を果たすSNSとして、LINEの利用を始めた。

LINEなら、スマホさえあればお客様と簡単に情報共有できますし、遠方にいらっしゃるご家族とテレビ電話で話せたり、災害などで電話が使えない時でもいち早く連絡を取り合うことができます。これだけ便利で、しかも無料なので、使わない手はないと考えました。」

ルールを守り、「広さ」よりも「深さ」を重視

高橋さんはSNSに投稿する際に、次の2つをルールとして決めているそうです。

●ポジティブなことしか出さない
前向きな考え方は前向きな言葉を生み、前向きな行動をする。この流れを大切に、少しでもユーモアを交えた投稿をする。

●宣伝の中にプライベートのできごとを加える
自身のプライベートに触れることは人となりが見えて親近感につながるが、それだけでは日記と変わらなくなってしまう。あくまで宣伝をメインとし、それが業務的にならないようにプライベートのできごとを加える。例えば、メインの文章を書いた後に、「冷麺好きでこの前も食べに行った康太より」といった感じに、プライベートに触れるバランスが大事。

これらについて、高橋さんはSNS発信する際には「広さ」よりも「深さ」を重視したいと語ります。

「戦略とSNSは、今後さらに切り離せなくなっていくと思います。個人単位では「便利ですね。やってみたいです」と言っているけど、いざ導入となると「会社が許可してくれない」というケースをよく耳にします。未知なものに対するアレルギーがあるかもしれませんが、ぜひ一歩前に踏み出してほしいですね。

発信方法としては、たくさんの方にに向けて広さを求めがちですが、結局浅くなって伝わらなくなります。それならば受信するのが少数人だけとしても、つながりが深くなるほうが効果的です。投稿の最後に自分の名前を入れるなど、施設ではなく個人に対するファンづくりをすること、も、カギになるのではないかと思います。」

施設概要 株式会社 おやまケアサービス



- ◆設立：2011年3月23日
- ◆施設：介護予防センターゆうゆうタウン五十人町、リハビリテーションサービスゆうゆうタウン水沢
- ◆住所：岩手県一関市大手町7-41 3F
- ◆電話：0191-48-3693



▲職員同士の情報共有にもSNSを利用。タブレットが欠かせない



▶施設内にスマホ教室の案内や、LINE公式サイト登録用のQRを掲示

お返事をもらえるのが嬉しい ～利用者の声～



▲利用者の山折睦子さんと高橋さん

▶職員さんの誕生日をお祝いする山折さんのメッセージ

スマホの勉強会でLINEの使い方を学び、ゆうゆうタウン水沢の公式サイトに投稿するようになった利用者の一人、山折睦子さんからお話を伺いました。

「スマホ教室に参加したのは、今年の5月からです。やり方を教えてもらったら自分で入力してみたくて、慣れないながらも練習のつもりで投稿するようになりました。職員さんの誕生日の投稿をしていたら、感謝のメッセージを送ったり。投稿に頻繁に反応したら迷惑かな...という気持ちもあったのですが、お返事をもらえるのが嬉しくて、よく投稿しています。」

ゆうゆうタウン水沢の公式アカウントだけではなく、家族のLINEグループにも送るようになりまして。最初は文章が途中で途切れていたり、変なメッセージを送ってしまったりともありましたが、孫が「おばあちゃん、LINE使えるの？すごい」と驚いていました。LINEを使えるようになって良かったです。」



▲第1回スマホ教室の様子。携帯ショップのスタッフが丁寧にレクチャー

求人情報の入力方法

①「福祉のお仕事」にログインし、「求人票の新規申請」ボタンをクリック

② ステップごとに求人票入力を行い、完了したら、「次に進む」ボタンをクリック

③ ステップ6の「I 求職者に向けて事業所を紹介する内容を入力してください」の画面で、「1. キャッチコピー」、「2. 事業所メッセージ」を入力し、保有する画像データを「3. 事業所の写真」に掲載することで事業所紹介情報を作成。完了したら、「次に進む」ボタンをクリック

キャッチコピーでアピール

施設の特徴的な活動、地域との連携、職員の働きやすさ、福利厚生の充実、キャリアアップの支援など、求職者が興味を引き、働いてみたいと思うようなPRポイントをキャッチコピーでアピール

事業所からの求職者へのメッセージ

施設の強み(利用者の生活のしやすさ、立地や周辺環境、近隣住民との交流など)、働きやすさや福利厚生(休日の取得状況や超過勤務の少なさ、育児休暇や永年勤続の特別休暇などの働きやすさや、たとえば「賃金以外の諸給付」、キャリアアップへの取組などを、求職者にPRし、求職者に興味を持っていただけるよう活用してください。
また、ハラスメントや職場の環境改善の取組など、求職者が不安に思う点への対策、取組をPRすることや、求職者に安心して応募、働ける環境づくりなどの取組を掲載することもPRポイントになります。

事業所の写真

④ ステップ7まで入力し、「この内容で申請する」ボタンをクリックし、申請完了
岩手県福祉人材センターが承認することで求人情報と事業所情報が掲載

福祉のお仕事

福祉人材センターホームページリニューアル

求人情報と自施設情報を一緒に掲載できる機能が追加!!



令和4年4月1日、福祉人材センターホームページ「福祉のお仕事」がリニューアルされました。
今回のリニューアルにより、求人情報と共に、自施設の特徴や働きやすさへの取組、募集する人材の説明等、自施設のPR、メッセージを掲載することが可能となりましたので、積極的に活用願います。

※リニューアルに伴い、一部ページでURLが変更となりましたので、ブックマークやお気に入り登録をされている場合は、お手数をおかけしますが登録の変更をお願いします。

《リニューアルで新設された事業所紹介ページ》

求人情報と共に自施設の情報を掲載できるようになりました。

自施設の特徴やキャリアアップ支援、福利厚生の充実といった働きやすさや将来設計など、施設PRや求職者が興味をもつ内容を掲載し、積極的に求職者の目を引きましょう。

【記載例】

職員のプライベート時間を大切に過ごしていただくため、1日の勤務時間は7時間30分となっております。家事や育児との両立や資格取得のための学習時間に充てることができます。共に経験を積み、自己成長ができる職場で一緒に働きませんか。
応募前の施設見学も対応していますので、お気軽にお問合せください。

1234-5678-91011

認知症対応型共同生活介護 / 介護職

	New!	正社員	新卒可	資格不問	経験不問
職務内容	グループホームご入居者の身体介護、生活支援全般 および施設運営全般				
都道府県/市区町村	岩手県盛岡市				
地域	県央				
法人名	社会福祉法人 岩手人材会				
事業所名	岩手人材会				
賃金	月給 162,000円～303,000円				
年齢要件	指定あり 18歳～59歳				
掲載開始日	2022/07/08				
掲載終了日(予定)	2022/09/30				

アットホームなグループホームで働いてみませんか!

アットホームなグループホームで働いてみませんか!

社会福祉法人 岩手人材会は設立20年目の会社です。岩手県盛岡市内の20か所に、グループホーム・介護付き有料老人ホーム等の介護施設を運営しており、介護職員が430名ほどおります。

その内、5年～10年勤務の職員が21%、10年以上勤務の職員が18%おります。産休復職率も100%と職員の定着率が高く、とても働きやすい職場です。是非一度、見学にいらしてください。



写真、求職者へのメッセージ、求める人材等を掲載し、求職者へアピールするとより効果的です!

詳細をみる

事業所の魅力発信の強化、多様な人材確保にぜひご活用ください!

福祉・介護の仕事に携わる人材の確保が難しくなっている中、介護の職場と求職者との橋渡し役を担っているのが福祉人材センターのキャリア支援員です。求職者に対し、必要に応じて、応募の前に施設見学・職場体験の機会をつくる等、きめ細かな支援を行っています。キャリア支援員が関わり、介護の職場に就職した方や異業種から転職した方がたくさんいます。このコーナーでは、希望がかなって今いきいきと働いている方を紹介します。

福祉の現場で働く人に

YELL

ガンバレ!!

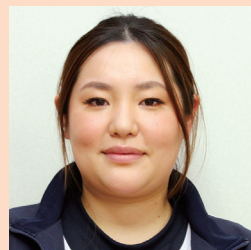


福祉・介護の仕事を選んだ理由 (きっかけ、地元就職の理由など)

介護のお仕事は大変なイメージがありました。祖父と祖母と一緒に暮らしていた私にとって、自然とやってみたくて、高校の先生の勧めもあり、さらに興味を持つようになり、リハビリタウンくじは、高校時代に職場見学の機会があり、スタッフさんや利用者さんが明るく楽しそうにリハビリに励んでいる姿が印象的でした。この頃から介護の仕事がしたいという気持ちも強くなりました。

仕事の内容は?

食事、入浴、排せつ介助などの生活全般のお手伝いをしています。老健なので介護スタッフだけでなく、看護師や療法士などの多職種の職員とともに連携しながら入所者様の生活・療養を支え、心身の健康管理をしています。



医療法人 健生会
介護老人保健施設
リハビリタウンくじ

介護員 田端 花澄さん
(令和4年4月採用)

リターンで久慈に戻り介護の仕事経験を活かして就職活動をされました。写真からも伝わるように人柄の良さやバイタリティーもあり、なにより利用者様を大切に想う気持ちは仕事に表れており、広く回りをみて行動できるスキルはスタッフからの信用につながっています。

日々心掛けていることは?

常に相手の立場になって考え、どうしてほしいかということを考えて行動するようにしています。入所者様の一つひとつの言葉や行動に意味があるのではないかと考え、一歩立ち止まり、流されることなくその方に向き合っているように心がけています。

今後の目標を教えてください

入所者様に質の高いサービスを提供し、快適に過ごしていただけるように、介護福祉士の資格取得を目指しています。資格取得に向けての勉強をしながら、現場で得られる技術や知識の習得も同時に進め、スキルを磨いていきたいと考えています。

その人らしい生活のお手伝いや穏やかな最期を迎えていただくための準備をさせていたただける、やりがいのあるお仕事だと改めて実感することも多く、同時にご家族様に代わって介護する責任も感じながら、日々奮闘させていただいております。

仕事の内容は?

以前から介護の仕事に興味がありました。求職活動中に、人材センターへの相談をきっかけにし、ご体験や職場見学会への参加を経て今の職場に出会いました。



先輩職員の大洞さん(左)と畠山さん(右)



有限会社 介護施設あお空
あお空グループホーム向町

介護職員 畠山 香奈子さん
(令和2年8月採用)

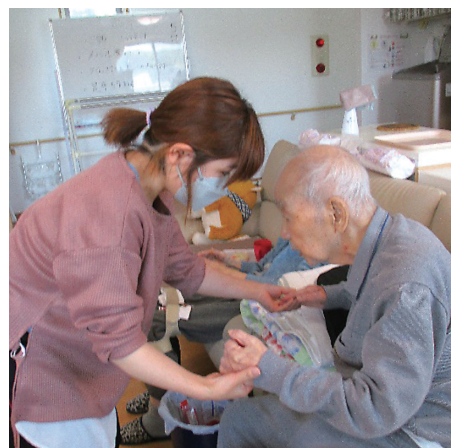
介護の仕事に興味があったという畠山さんは臨時出張相談会に場所され、ご自身の適性を見極めるため3日間、介護のおしごとと職場体験を行いました。さらに宮古エリアで初めて実施した「ジャンボタクシーで行く介護の施設見学会」のイベントにも参加、見学先の一つであった現在の職場であるあお空グループホーム向町の印象が良かったことから応募を決め採用となりました。

日々心掛けていることは?

いつも笑顔でいることです。利用者様と楽しくコミュニケーションを取り、一日を安心して過ごせるように心掛けています。

今後の目標を教えてください

介護技術の習得や専門知識を身に付けるなどスキルアップを重ね、将来は介護福祉士の資格を取得し利用者様に信頼されるような介護職員になれるよう頑張りたいと思っています。



利用者さんへ優しく接する畠山さん

担当キャリア支援員よりメッセージ

沿岸宮古エリア担当
館洞 毅晴

未経験からのスタートで不安が大きかったと思います。コロナ禍ということもあり、入社後直接、畠山さんとお話する機会はありませんでしたが、ご本人のコメントからはやる気を持って楽しく笑顔で仕事をされていることが伝わりました。これからも笑顔で絶えず、目標としている介護福祉士の資格取得に向けて頑張ってください。

施設からのコメント



管理者 畠山 尚士さん

畠山さんは、介護のおしごとと体験と職場見学会で実際に当社の施設内での仕事を見て、やりがいを感じた、やってみたくて、令和2年8月に入社されました。とても優しい方で利用者様への声掛けも大変丁寧です。また、親しみやすさがあり、ゆったりとした雰囲気を作ってくれ、今ではホームに欠かせない職員です。当施設には無資格・未経験で入社しましたが、やる気があり資格取得にも前向きです。今後も初心を忘れず経験を積んで自信に繋げていただき、これからも明るく元気に長く働いてもらえるようしっかりとサポートして行きたいと思っています。

施設について



あお空グループホーム向町は、平成30年3月30日に開所し、多くの方々に支えられ4年が経過しました。宮古市街地に立地しており、利便性が良く利用者様やご家族、地域の方々からも身近な存在として、安心して利用していただける施設づくりを目指しています。また、利用者様が家庭的な雰囲気の中で、その人らしく安心して生活を送れるよう心掛けています。そのためには職員間のコミュニケーションとチームワークを大切に、より良い支援が出来るよう取り組んでおります。

施設からのコメント



介護科長 大沢 学さん

利用者様に笑顔で丁寧に対応することができ、わからないことがあった時にはすぐ他の職員に確認し、熱心にメモを取る真面目な姿を見ると、信頼して一緒に働くことができます。今後、介護福祉士の資格取得の目標があるとのこと。安心して働きながら勉強し、目標が達成できるよう私達もサポートしていききたいと思っています。リハビリタウンくじの一員としてともに頑張っていきたいと思います。

施設について

介護老人保健施設リハビリタウンくじは平成17年4月1日に開設し、現在17年目となります。入所サービス、通所リハビリテーションの他、併設事業所として居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションがあります。入所棟は全室個室ユニットケアを採用しており、平成22年に増築された新棟とあわせて114名の入所者様が療養生活されています。できるだけ自宅での生活をしているような、明るく心のこもったサービスの提供を心がけています。コロナ禍ではありますが、四季が感じられる設えや感染対策に配慮した行事を行ったり、オンライン面会の実施などご家族様と利用者様に寄り添い、その人らしい生活を送っていただけるように支援させていただいております。



担当キャリア支援員よりメッセージ

県北エリア担当
城内 公子

若い世代の方が地元に戻ってくれたこと、その中でさらに介護の仕事を選択してくれたことに嬉しさとともに今後の期待に胸が膨らみます。これまでの介護経験を活かし即戦力として活躍する姿を見直し、介護現場にとって必要な逸材だと改めて感じました。言葉から介護への想いを感じました。更なる活躍にYELLを送ります。

畠山さんについて

畠山さんは、介護のおしごとと体験と職場見学会で実際に当社の施設内での仕事を見て、やりがいを感じた、やってみたくて、令和2年8月に入社されました。とても優しい方で利用者様への声掛けも大変丁寧です。また、親しみやすさがあり、ゆったりとした雰囲気を作ってくれ、今ではホームに欠かせない職員です。当施設には無資格・未経験で入社しましたが、やる気があり資格取得にも前向きです。今後も初心を忘れず経験を積んで自信に繋げていただき、これからも明るく元気に長く働いてもらえるようしっかりとサポートして行きたいと思っています。



小規模介護事業所合同研修事業の参加募集について

小規模介護事業所を対象に、事業所の職員が合同で研修する機会を提供し、職員のスキルアップ、事業所間の交流を図ることを目的に合同研修会を開催します。本研修は、県内9つの高齢者福祉圏域で、合計27回開催する予定としています。

他の圏域の事業所と合同で研修を実施することや、他の事業所が実施する研修への参加も可能ですので、ぜひ活用ください。

申込み締切り前でも、定員に達した場合は申込みを締め切ることがありますので、お早めに申込み願います。

なお、研修テーマのご希望などございましたら、圏域を担当するキャリア支援員へお伝えください。

《テーマ例》



テーマ	内 容
ハラスメント対策	様々なハラスメントへの対策について
接遇マナー	利用者のご家族に対する礼儀と好感を与える立ち居振舞いについて
介護施設のメンタルヘルスケア	職場での予防と対策について

小規模介護事業所合同面談会の開催のお知らせ

小規模介護事業所職員が、求職者に介護の仕事の魅力を直接伝える出会いの場である合同面談会を開催します。

事業所職員にとっては、自分の事業所の仕事内容や求めている能力、働く喜び、利用者と関わることでの楽しさ、難しさなどを求職者に直接伝えることができる場であり、介護仕事をより知っていただく貴重な機会でもあります。

なお、面談会終了後、事業所への同行見学、職場見学につながるケースや、同行見学や職場体験などを経て、応募につながるケースもあります。今年度は、県北(久慈)、県央(盛岡では2回開催)、県南(水沢)、宮古、大船渡、釜石の計7回開催しますので、詳しくは、自事業所の圏域を担当するキャリア支援員にご相談ください。

【開催予定】	圏 域	開催日時	会 場
	県 央	7月30日(土) ※終了しました	ホテルメトロポリタン盛岡本館
	県 央	9月9日(金)	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング
	県 南	9月21日(水)	ハローワーク水沢
	久 慈	10月5日(水)	久慈市総合福祉センター
	釜 石	10月14日(金)	釜石・大槌地域産業育成センター
	宮 古	11月16日(水)	宮古合同庁舎
	大 船 渡	12月5日(月)	大船渡市総合福祉センター



求人・求職情報総合サイト「福祉のお仕事」では、インターネットを介して事業所から求人申請ができます。詳しくは、下記までお問合せください。

福祉の求人・求職は岩手県福祉人材センターへ
社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会
岩手県福祉人材センター

岩手県盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手2F
TEL.019-637-4522 FAX.019-637-9612
E-Mail fukushijinzei-1@iwate-shakyo.or.jp



携帯サイト
は
こちらから

